

9 学 力 向 上 推 進 事 業

昭和 59 年度から「魅力ある高校づくり推進事業」を、引き続いて昭和 63 年度から「特色ある高校づくり推進事業」を実施するなど、全人教育を基盤に据えながら、生徒の多様化に対応する教育を進め、平成 2 年度からは、「学力向上推進事業」を実施している。

また、義務教育における学力向上のための事業として、平成 30 年度から「授業改善推進プロジェクト事業」を実施している。

(1) 授業改善推進プロジェクト事業（小・中学校対象）

すべての学校、すべての授業で「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、「信州型ユニバーサルデザイン構築事業」「信州教育の学びの基盤推進事業」を展開した。

ア 信州型ユニバーサルデザイン構築事業

○ 事業目的

授業づくりの共通基盤をつくり、全県を挙げて授業改善を進める仕組みを整える。

○ 事業内容

県下小中学校、義務教育学校で取り組んでいるものを持ち寄り、再構成することで、県下の教師で創り上げたものとして全県に広めていく。

○ 「学力向上フォーラムながの」の開催（1月21日）

イ 信州教育の学びの基盤づくり推進事業

○ 事業目的

学習指導要領の改訂に際し、全ての学校、全ての教員に、児童生徒が時代に求められる資質・能力を育むための学習指導についての理解を浸透させるとともに、長野県として目指す教育課程の在り方について明らかにし、日常の授業改善を進めていく。

○ 事業内容

教科等横断的な 6 つの視点で実践をしながらポイントを整理周知し、深い理解を図る。

- ・新学習指導要領のポイントを整理し、ホームページにアップするとともに、学校訪問で使用する。
- ・整理した実践を、学校訪問で紹介したり、他の学校で実践したりする。

(2) 高等学校の実践内容

各学校の実態に即した学力向上のための実践が行われ、基礎学力の定着と伸びる力の伸長を図った。

- ・教育課程の見直し
- ・進学対策集中講座
- ・指導法の研究実践
- ・学習合宿の実施
- ・学習ソフト活用
- ・進路情報の活用

(3) 進路指導等研究協議会の実施

5月31日 総合教育センター 参加者 69人 対象者 高等学校進路指導主事

8月31日 総合教育センター 参加者 73人 対象者 高等学校進路指導主事